

特集：アセアン横断型グローバル課題挑戦的教育(TAG)プログラム

TAG パイロットプログラムに参加して —最終日 3/17 の旅行記—

村井 隼弥（筑波大学 生物学類 1年）

3月17日は朝8時15分にホテルのチェックアウトを済ませUSM（マレーシア科学大学）に向かった。この日は出川先生がUSMで大学間協定に向けて学部長と公式面談があり、私達もUSMの学部長にあいさつをし、お土産にUSMのロゴ入りのペンをいただいた。その後USMの「脊椎動物の個体群・群集生態学に関する授業」を聴講する予定だったが、手違いがあり教室が分からず最後の10分ほどしか授業を聞けなかった。授業の仕方はこちらでも一般的なスライドを使った授業だった。教室は冷房がかなりきつく寒くて熱帯ならではののだろうかと思った。少ししか聞けなかったのは残念だったが、外国で英語による授業に参加させていただけたのは貴重な経験だった。授業が終わると、私達が来ることを知っていたのか、向こうの学生さんがサンドウィッチを作ってきてくれていた。中には日本に留学するために日本語を勉強している学生さんもいた。皆とてもフレンドリーで楽しく交流することができた。その後、学部長を含むUSMの先生方や向こうの学生さん達と昼食会が行われた。ムスリムの方も行ける、豚肉を使わない中華料理店に行き、USMの学生さん達と交流した。ご飯は沢山用意してくださっており、どれもおいしかった。



昼食会の様子

昼食会が終わると出川先生は再び面談に戻り、私達は現地の学生さん達と観光地に向かった。運転手さんや学生さん達に近くでおすすめの場所を教えてくださいました。まず、ヘビ寺に連れて行ってもらった。ヘビ寺にはその名の通りヘビが沢山いて、お寺にある木に数匹のヘビがいたり、全長2mくらいありそうなニシキヘビ(?)が飼われていて、肩に乗せて写真を撮ってもらえる所もあった。(その写真はたしか一枚数百円くらいだった。) 私はそのヘビを見つけてすぐに駆け寄っていったので向こうの方に相当興味があると思われたのか、お金を払ってないのに肩に乗せてもらえた。ヘビ寺でお土産を売ってる出店では、これぞ東南アジアといった感じのパロディー商品が沢山あり、とても面白い所だった。その後、屋台街に連れて行ってもらいマレーシア料理を食べた。

観光の後にはUSMに戻り、出川先生と合流してすぐに空港に向かいました。USMの学生さん達も空港まで見送りに来てくださり、最後までいろいろなお話ができた。



ペナン国際空港にて記念写真

【全体を通しての感想】

今回、このプロジェクトに参加させて頂けて本当に良かったです。観光が楽しいのはもちろんのこと、観察や採集といったフィールドワークを出川先生をはじめ研究室の方々とできたことはとても貴重な体験でした。フィールドや移動の車中、実験室で学名が飛び交い皆さんの目がキラついてたあの雰囲気は、1年生で無知な私にはとても良い刺激となりました。この旅行記を自分で読み返して、このプログラムの楽しさや素晴らしさを上手く表現できていないことが悔しいくらいです。

最後に、今回このような貴重な体験をさせて頂き感謝しております。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

Communicated by Yosuke Degawa, Received April 18, 2014.